

「伝統の『シンカ』」 ～共に創る学校をめざして～

刈谷市立刈谷南中学校長

葉 山 靖 彦



令和7年度は、263名の新入生を迎え、全校生徒785名でスタートしました。新年度のスタートは、新入生を迎えるために心を込めて準備をする3年生の姿、新入生の先輩として行動している2年生の姿があり、心強く感じました。そして、新年度のスタートにあたり、生徒会長からは「伝統を『シンカ』させたい」との言葉がありました。『シンカ』には「進化」「深化」「真価」などのいくつかの意味を含めてくれました。

本校には「無言清掃」という伝統の取組があります。4月には、3年生が1年生に「無言清掃伝達式」として、清掃の方法とともに、「床と向き合い、真剣に取り組むと自然に無言になる」という込められた思いを伝えています。先輩方から受け継いできた思いを大切にしたいと、今の自分たちに合った新しいもの（新風）を加えながら、よき伝統が繋がっていることに感謝しています。

また、教育活動の中で大切にしている『共創』という言葉があります。授業や学校行事等を共に創り上げていくという意味です。そのために、さまざまな立場や多様な考えをもった人の思いを理解しようとしたり、その思いを傾聴しながらよりよい方向性を導き出したりする活動に力を入れています。令和6年度には、「みんなが楽しめる体育大会にしたい」と、体育大会の見直しを行いました。それまでの陸上種目中心の内容を、仲間との絆が深まるものにしたいとチーム競技を多く取り入れ、運営も生徒が中心となって行いました。本年度は、生徒会や各委員会がそれぞれの視点で学校生活を見据えて、よりよいものを創り上げる取組を展開していこうと動いています。

結びになりますが、よりよいものを目指そうと前向きに考え行動してくれる生徒、生徒を支え学校に協力してくださるご家族、たくさんの目で生徒を温かく見守ってくださる地域の皆様等、多くの人に支えられて生徒が成長する環境が創り出されていることに感謝しながら、より魅力的な学校づくりに尽力したいと思います。

令和7年4月吉日